

項目	変更事項
タイム測定方法	<p>■規定タイム測定場所の変更（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機関員が伝令「放水始め」を復唱し、手を体側に着け、静態した時点。 <p>【補足】機関員の伝令復唱までとすることで、各要員の流れ（操法遵守）は、実際の水出し操法のラップタイムに近づく。</p>
規定タイム	<p>■規定タイムの変更（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小型ポンプ操法 基準タイム：35 秒（±0） ・ポンプ車操法 基準タイム：1 線 45 秒（±0）・2 線 55 秒（±0） <p>【補足】-10 秒にした理由 実際の送水では、機関員の送水技術と消防ポンプの性能、そして筒先の的当て技術、さらにはホース展張の出来やホース性能でも差が出るため、平均的な所要時間の 11～13 秒を参考に、今回は切の良い 10 秒としました。</p>
筒先要員のみなしタイム設定①～③ ※第 3 結合以降が「タイム計測無し」となるため	<p>■筒先要員に対する、注水姿勢完了までのみなしタイム設定（案①）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小型ポンプ操法 40 秒以内に注水姿勢を完了させる ・ポンプ車操法 1 線 50 秒以内、2 線 60 秒以内に注水姿勢を完了させる <p>【補足】注水姿勢の完了を 40 秒に設定する理由（小型ポンプ操法の例） タイム 40 秒（-5 秒）が +5 点の加点と思われがちですが、加点ではなく 40 秒以内が 100 点満点審査の対象です。従って、筒先（個人）は、40 秒以内に注水姿勢を完了して、個人と総合での満点審査の対象となるため。</p> <p>■筒先要員に対する、第 3 結合までのみなしタイム設定（案②）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小型ポンプ操法 第 3 結合での「放水始め」を、25 秒以内に言う。 ・ポンプ車操法 1 線の第 3 結合での「放水始め」を 35 秒以内に言う。 2 線の第 3 結合での「放水始め」を 45 秒以内に言う。 <p>■筒先要員に対する、第 3 結合以降のみなしタイム設定（案③）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筒先要員は第 3 結合の伝令以降、20 秒以内に注水姿勢を完了する。
<p>備考：水出し操法で正式にタイムを切るには相当な練習量が必要です。千葉県大会においても上位チームのみでしか正式にタイムを切ることが出来ていません。※タイムだけを切ることは簡単です。市の操法は千葉県大会のレベルとは違い、まずは訓練礼式などの基礎訓練を重点に指導し、段階的に操法の意図する資質向上へつなげていければ良いかと思えます。今回の審査改正は 2 年前の真空タイムに続き、競技操法としての流れや遵守事項といった根本的なことも同時に理解して頂くため、今回の改正によって、さらに水出しの競技操法としての流れも体感出来るかと思えます。</p>	